

# 親子聖書日課

NO.1521 2017.11/19-25 名前

[日]どの世界でも熟練した人は、見事に人の心を捉えます。「真理の言葉を正しく伝える」ためには、伝道の熟練工になることです。それには、失敗や繰り返しを恐れずに、主を語ることです。福音のために「恥じるところのない働き手」になろう！

[月]聖書は何度読んでも心に響きます。ある時は「教えられ」、ある時は「戒められ」、ある時は「誤りを正され」ます。神は聖書を通して、私達に必要な霊の力を与えてくれます。新聞を読む前に、「真聞」である聖書を読んで、信仰に生きましょう。

[火]信仰生活は、この世と自分の欲との戦いです。自分の大切なものを献げることに戦いがあり、その戦いを立派に戦い抜いた時「義の栄冠」を頂けます。秘訣は「決められた道を走り通す」こと、それは御言葉に従って、生活をするということです。

[水]立派なことを語っても、「教えに適う信頼すべき言葉をしっかり守る人でなければ」誰も聞いてくれません。御言葉に聴従する人こそ、よい証人です。礼拝を第一とし、祈りを合わせ、十一献金と奉仕に励む姿勢こそ、よい伝道になります。

[木]この世は不健全な教え、不健全な言葉が溢れていますが、私達は「健全な教え・健全な言葉」を語りたいですね。そうすれば、中傷や悪口が消え、慰め、励まし合えます。健全な教えは、毎日御言葉を聴くことです。聖書日課に励みましょう。

[金]善い行いに励むために必要なものは、人間の努力ではなく、聖霊の力です。「聖霊によって新しく生まれ」変わることができます。主は「聖霊を私達に豊かに注いで下さいます」が、聖霊が注がれるためには、主に全てを委ね、聖霊を求めることです。

[土]自分の負債以上に、他人の負債を返すことは大変です。しかし、パウロはオネシモの負債を引き受けました。その覚悟に至ったのは、主の十字架の赦しに与ったからです。主に対して、身をもって償う負債のある私達も、全力で仕えましょう。



	聖書	問題	答え
日	Ⅱテモテ 2:14-26	真理の言葉を正しく伝える者となるように、どうすべきですか。	
月	3:1-17	何はすべて神の霊の導きのもとに書かれましたか。	
火	4:1-22	福音宣教者の仕事に励み、何を果たすべきですか。	
水	テトス 1:1-16	神は、定められた時に、何を通して御言葉を明らかにされましたか。	
木	2:1-15	あなたは、何に適うことを語るべきですか。	
金	3:1-15	この救いは、何によって新しく生まれさせてくださいましたか。	
土	フィレモン 1-25	オネシモは今、あなたにも私にもどんな者になりましたか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	